



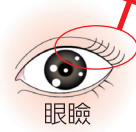
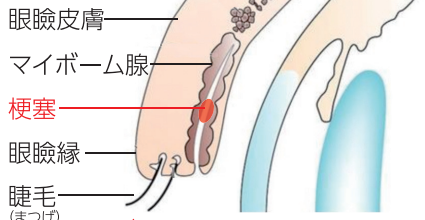
「目ばち」を切るべき

目ばち(ものもらい)とは目の周りの炎症を総称して言います。眼球の外側には、まばたきをして目を開閉する眼瞼(まぶた)が上下にあり、目の形を作るラインを眼瞼縁と呼びます。眼球周囲の皮膚は眼瞼縁までを覆います。眼瞼縁には睫毛や多数の分泌腺が

あり、ここで感染が生じると目の周囲が赤く腫れ、まばたきすると痛い目ばちの症状となります。考えられる疾患は、眼瞼炎、眼瞼縁炎、眼瞼皮膚炎、麦粒腫、急性霰粒腫ですが、眼瞼縁にあるマイボーム腺が梗塞して分泌物が溜まり、そこに感染を起こすことが共通の原因です。

感染した菌量が少なく菌の力が弱ければ、痛みより違和感、目の赤み、腫れが症状となり、空気が乾燥する今の季節、ドライアイや花粉症の症状と区別しにくいことがあります。菌量が少なくは、数日間の経過で薬が効いて軽快します。菌量が多くて炎症も強い場合、外科的な処置が必要です。薬が効かなければ、目ばちを切ることになるのです。

【上眼瞼】



ただ、切るのは痛くて嫌なものです。切らずに炎症を抑える方法は、眼瞼皮膚を保湿することです。皮膚が乾燥すると感染しやすく、薬は効きにくくなります。ドライアイ、花粉症の対策としても有効なのですが、お風呂上りや就寝前、眼瞼皮膚の保湿を念に心掛けてください。

(院長 伊田 宣史)

診察でマイボーム腺梗塞を確認して治療を始めます。適切な抗菌点眼薬と内服薬、それに抗炎症薬のステロイドを投与することも

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い



伊田眼科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	△	○	○	△
18:30							

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

